



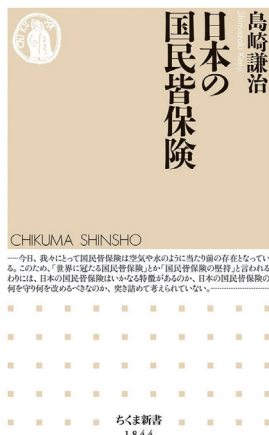
Title	書を抱えてフィールドに出よう！
Author(s)	安田, 直史
Citation	目で見るWHO. 2026, 96, p. 32-32
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/105793
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

書を抱えてフィールドに出よう！



日本の国民皆保険（ちくま新書 1844）

著 者：島崎謙治

出版社：筑摩書房 2025年 1月発行

3.8.2)と一致する考えだと共感しました。また日本が税方式ではなく社会保険方式を採用したのは「私たちが目指す社会はかくあるべし」という明確な理念的背景があつての選択であつたということには感動します。

〈第Ⅱ部 軌跡〉では日本の皆保険の進化の歴史が非常に詳しく述べられています。旧健保法（1922年）と旧国民健康保険法（1938年）により、戦前には既に現在の皆保険制度の概ねの仕組みが整っていたことは驚きで、さらに戦後GHQを説得して米国とは全く異なる医療の方向性が死守されたことには感謝を覚えます。

〈第Ⅲ部 展望〉では現在盛んに議論されている高額医療費制度や混合診療なども含めた今後のあり方について理念、経済、科学的視点を含めた包括的な議論が展開されます。医療制度は産業構造、人口・年齢構成の激変に伴って、これまでも、そしてこれからも変化し続けなければ持続できないものであることがよくわかります。専門家だけでなく、まさに「国論を二分する」国民的議論が必要な待ったなしの問題であり、本書はそれに対して貴重な情報と考え方を示してくれるものといえます。

（紹介者：安田直史）

読者のページ（投稿募集）

編集委員会では、読者の皆さまにも参加いただき、双方向性の紙面づくりを目指したいということになりました。その第一歩として、読者のページを新設することになります。ここには読者の皆さまからのさまざまな意見、情報を紹介したいと考えています。以下の様な内容をお寄せください。

- 【フィードバック】目で見えるWHOやその内容に対する建設的な提案、感想、質問などのフィードバック
- 【告知】健康に関する活動やイベントの告知、執筆された書物や映像の紹介
- 【報告】健康に関する活動やイベントの報告
- 【意見】健康に関する意見、論考などのエッセイ など

投稿ご希望の方は以下から400字以内でお送りください。（画像一点まで可能）

QRコードとURL <https://forms.gle/dhpgxG18mEFL9y9s6>



なお、編集委員会で内容を査読し、また紙面の関係で掲載を決定しますので、お寄せいただいたもの全てを掲載できない場合があることをご了承ください。